

日中友好新聞

府連通信

2009年10月号
 日本中国友好協会大阪府連合会
 〒530-0013
 大阪市北区
 茶屋町10-6
 阪急北ビル4階
 TEL06-6372-8131
 050-3413-6491
 FAX06-6372-8132
 郵便振替口座
 00970-5-8978
 E-mail:jcfa@j
 t8.so-net.ne.jp
 ホームページ
[http://www005.u
pp.so-net.ne.jp
/jcfaosaka/](http://www005.u
pp.so-net.ne.jp
/jcfaosaka/)

全国大会までに会員を700名に

十月の常任理事会で十月の討議

十月十四日、第四回大阪府連 常任理事会が開催されました。 中日本部が提起した「第五十 九回全国大会までに会員を千人 拡大しましょう」という方針に 大阪府連としてどう対応してい かなければならないかを時間を かけて討論しました。

①すべての支部活動を活性化 する。(府下十三支部)
 ②堺、東大阪など人口の多い 地域の支部組織を強固なものに するために支援する。
 ③協会創立六十周年を迎える 来年の全国大会までに会員が七 百名の組織にする。
 ④文化活動(中国語・太極拳・

十月五日から開講された中国 語講座には、十六名の新入生を 含め二百七名の方が申し込まれ ました。最近の厳しい経済・雇 用情勢を反映して生徒数は減少 気味ですが、ここ数年仕事に必 要がある方や、就職への資格と して中国語を学ばれる方が増加 しています。「体験レッスン」 にも多くの方が来られました。

中国語講座始まる

西支部2009年度定期総会 が十月四日茶屋町・日中文化セ ンターで開かれました。会員手 作りのきりえや書道、絵手紙、 絵画などを展示したミニ作品展 も行いました。(2頁に詳報)

西支部定期総会

多彩な行事を企画



新中国建国六〇周年に思う②

前線で迎えた新中国の誕生

藤後博巳(日中友好協会大阪府連合会副会長)

一九四九年一月、私は中国人で迎えた。この一大ニュースが 民解放军第四野戦軍の一兵士と伝えられて、士気が大いに盛り して天津解放戦役に参加し、そ揚がったことを、今でも鮮明に のあと南下して武漢を解放した覚えている。そして、そのとき、 後、長江(揚子江)の渡江作戦を かつて軍国主義の一少年だった 経て長沙を解放し、さらに広州・ 私が、中国兵士と手を取り、肩 海南島解放へと、それは正に破 を抱き合って我がことのように 竹の勢いで進撃する部隊の中に 喜ぶほどまでになっていた。

このときほど改めて理屈抜き 一致団結して、目を輝かせて頑 張っていたことを、毎年の十月 輝かしい中華人民共和国の建国 だ。また、中国兵士と生死を懸 けて共にしてきたこの軍隊が、 らない。

一刻でも民衆から離間すると、 生命そのものが保てないという、 中国革命そのものの厳しさも、 従軍の中で身をもって知ること になり、解放军の勝利を確信し たのもこの頃だ。

今、中国は市場経済を通じて 社会主義への路線をとり、大き な躍進を遂げているが、同時に 貧富の格差拡大、拝金主義や利 己心の広がりなどの矛盾が表面 化するにつれ、私は当時の中国 の人たちが、新しい国づくりに

新中国建国60周年・文化の集い

「日中15年戦争・映像資料で学ぶ」

日時：11月8日(日)14:00より
 会場：日中文化センター(梅田茶屋町)
 参加費：500円 ビデオ観賞の後、
 それぞれの「日中」を語り合しましょう

予約注文受付開始

「中国悠久の旅」カレンダー完成

四川大地震の災害支援に充てられます
 大きさ：B3判 515×364mm
 様式：カラー13枚綴り
 定価：1200円(税込)



天安門広場・建国六〇周年記念パレード



西支部定期総会開かれる

二割目標達成も高齢化に押し戻される

西支部2009年度定期総会が十月四日茶屋町・日中文化センターで十数名が参加して開かれました。大阪府連片山理事長の来賓あいさつ、スキー協議会・松岡荷さんからのメッセージ紹介で開会しました。

この一年、会員のニーズに応えるため、太極拳教室の開催と、毎月多彩な行事をとりくみ交流を深める運営を行なってきました。会員の拡大も二割拡大の目標は達成しましたが、死亡退会等もありほぼ現状維持に終わり、次年度は実数で一割増をめざす

同じく中国も積極的に温暖化防止策を執行したいと表明があり、それに続くようにアメリカがブッシュ政権の消極姿勢から一転し温暖化防止策を積極的に推進すると表明しました。

もともとよりヨーロッパ(EU)諸国はすでに大幅削減を表明していましたが、方向性の確認は出来ましたが、早急に実行に移す事が重要な課題となります。中国の積極姿勢は他の発展

温暖化防止策と中国の対応はどうか

2009年9月、国連総会で日本をはじめ中国や世界主要国が集まって地球温暖化防止サミットを開きました。関連する会議も開かれ世界同時不況克服、核兵器の廃絶へのプロセスの会議などが開かれ日本の新政権が世界に新政策をアピールしました。

その中で今まで財界の圧力で温暖化防止に消極的であった日本が積極的に二五%削減を打ち出すなど世界から称賛を受け、

を恒岡正勝さんから贈呈し、発足総会には激励に出かけようと話し合っています。

議案討議・採択と新役員を選出し、第二部は一品もちよりの懇親会で交流を深めました。懇親会場には会員手作りのきりえや書道、絵手紙、絵画などの展示も行いました。総会も二時間

があとという間にすぎ、作品展も懇親会も良い雰囲気でした。終了間際に、古参会員の丸橋寿夫さんが長靴姿でやって来ました。トンボや蝶の生態調査の帰りとか、趣味もいろいろなものがあるのだと感心しました。市村さんの激励と丸橋さんとの三

次会、支部は変われど頑張りましょうと健闘を誓い合いました。

途上国をも巻き込み地球規模に広がる事が期待されます。では中国はどう消化しようとしているのでしょうか。

たとえば現在の中国の電力事情はと言うと火力発電(石炭)が大きな比重を占めています。これをソーラー発電より比較的安い風力発電に変える事は理論上可能です。現在の総発電量

(約三・五兆KW)です。これから農村の電化と近代化を推し進めると電力が不足します。中国東北部から中西部の内陸部の地形や気候を利用した風

力発電でまかなうとすれば二〇兆キロワット(現在の五倍)程度の確保が可能です。自然相手の不安定な電力供給という弱点もあります。それに電力需要地は遠くの沿海部であり、送電ロスや送電のためのインフラ整備も必要となります。

中国建国六〇年記念

祝賀会盛大に開催

中国駐大阪総領事館主催の中国建国六〇周年記念祝賀会が、九月二八日ホテルニューオータニ大阪で開催されました。

鄭祥林総領事から、来年の上海国際万国博への参加歓迎の挨拶があり、橋下大阪知事は関西地域は昔から中国との経済・文化交流の結びつきも強くこれからも一層の発展を期待すると挨拶がありました。

日中友好協会から大阪・京都・兵庫・和歌山・広島の前代表が参加し、次の機会には、奈良・滋賀の皆さんとも一緒にお祝いしたいと思えます。(片山英徳)

第91期中国語講座受付中

中国人との日常会話ができることをめざしています。会員・学生割引あり、紹介キャンペーン図書券を贈呈(10/5から週一回・二時間・6ヶ月20回受講)受講料・44,000円 入学金・18,000円 二科目受講は88,000円を66,000円に割引 *授業の見学は無料で二科目までならOKです。 *プライベートレッスンも随時受付中です。

きりえで創る干支色紙・年賀状

西支部主催干支色紙教室 11/20(金)18:30~ 受講料:1000円(材料費こみ) 講師:稲田雪男さん 大阪府連主催年賀状教室 11/24(火)14:00~ 大阪府連主催干支色紙教室 12/1(火)14:00~ 材料費:干支色紙500円、年賀状600円 受講料:1000円 会場:梅田茶屋町・日中文化センター4階